

● 将来都市像

人とまち みんな元気な 環境都市

「人とまち」

本町を構成する要素として、まず「人」が重要な要素です。子どもからお年寄りまで、町に愛着を持って元気に暮らしていけるようにするために、次代を担う子どもたちは創造性や社会性を備えて成長し、お年寄りは生きがいを持って生涯楽しく健康に暮らしていくことができる社会を築いていきます。

「まち」は、人を取り巻く物理的な環境全体で、市街地を始め農地や自然環境などを指します。にぎわいのある中心市街地や緑豊かでうるおいのある美しい街並みを形成し、活力のある新たな産業の創出とともに、担い手により有効利用された農地や多様な生物が生息する自然環境を保全していきます。

「みんな元気な」

「みんな」とは、町に在住する住民や町内で働く人々、さらには本町を訪れる人々を指します。また、人だけに限らず、まちを構成するすべてのものを含みます。

「元気」とは、生活習慣病予防や介護予防などによって町民の健康寿命を伸ばし、心身ともに健康であることはもとより、生きがいを持って暮らしている姿や働いている姿、にぎわいや活気のある雰囲気、法令やルールの遵守により自然が豊かで快適な環境が整っている状態を表します。

人が、まちが元気であることが「元気な東郷町」をつくるためには必要不可欠であり、そのために、町民、町民活動団体、地区、事業者及び行政等が互いに助け合い、支え合うことが大切です。

「環境都市」

「環境都市」とは、本町が有している愛知池や境川などの水辺、農地や樹林地などといった豊かな自然を、多様な生物が生育できる場所として守り育てることで、本町にふさわしい自然環境として、将来の子どもたちに引き継いでいくことを表します。

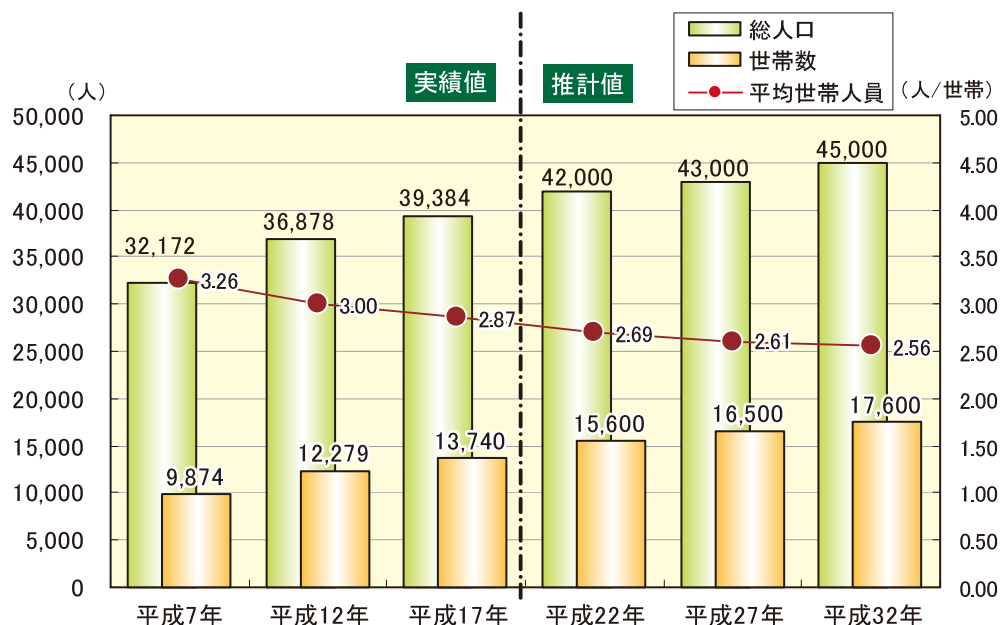
また、愛知県が提唱するエコモビリティなどを推進し、車に過度に頼らずエネルギーを節約し資源を大切に使うというように、人が環境にやさしいライフスタイルに転換していきます。

既存の施設・設備を有効活用し無駄を省きながら、太陽光発電を始めとした再生可能エネルギーの普及を進めます。

さらに、地産地消に取り組み、地域で循環する社会を築いていくことなど、環境にやさしいまちづくりを目指します。

●将来人口

本町の人口は、平成32年で45,000人、世帯数は、17,600世帯と想定します。



●土地利用構想

本町独自の自然環境や田園景観の維持保全に十分に配慮し、次のような考え方に沿って進めます。

- ・ 河川や田園空間と一体となった水と緑の軸を形成
- ・ 市街地の求心性を高める新たな町の中心市街地の形成
- ・ 都市の魅力の向上
- ・ 周辺の農地等との環境上の調和に十分配慮

